



奉仕を通じて

平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成24年8月28日(火)

第2598回 例会

(本年度第7回)

例会場

東京第一ホテル鶴岡

例会日

毎週火曜日

(鶴岡市錦町 2-10)

(12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(9/4)のメインプログラム

地区セミナー報告①

次週(9/11)のメインプログラム

地区セミナー報告②

会長挨拶

阿部純次君

皆さん、こんにちは。本日は、前鶴岡市長の富塚陽一様を向かえて、卓話を拝聴させていただきます。

いろいろな(機微にとんだ)お話等が伺えるものと大変楽しみにしております。

富塚様(残暑の中、お出で頂きありがとうございます)どうぞよろしくお願い致します。

先週の、「だだちゃ豆家族例会」には、会員28名、家族の皆さん11名、RAC14名、IACの古原先生、そして事務局飛嶋さんを含め、合計55名の参加をいただき、楽しい一夜となりました。

多数の皆さんの参加誠にありがとうございました。

8月25日(土)は、地区・米山奨学セミナーが山形のメトロポリタンホテルで開催され、佐藤孝子さんと小林健郎さんに出席していただきました。暑いさなかご苦労様でした。

同じ25日に、RACの会長・幹事会(6クラブ)が鶴岡商工会議所で開催され当クラブからは、越智茂昭さんと間喜美子さんが出席いたしました。お疲れ様でした。

8月 会員増強および拡大月間

さて、7月からロータリーの新年度が始まり、今月・8月は「会員増強・拡大月間」にあたっています。

「ロータリーの友」8月号も、「会員増強および拡大月間」を特集としてとりあげております。

「会員増強」はロータリークラブにとって、年間を通じての最重要事項であって、通年の活動を続けていくべき課題です。8月も残すところわずかとはなりましたが、新年度のスタートダッシュの意味合いから、特に皆様にご尽力をいただきますよう、お願いする次第であります。

会員増強には、内部拡大、外部拡大の2つがあるこ

とは皆さんご存知のことと思います。

①「内部拡大」は、クラブの区域内で得られている適格な職業分類の代表者に入会してもらい、クラブの会員数を増やすことです。

②「外部拡大」とは、ロータリークラブがまだ存在していないところに、新しくクラブを設立してロータリーを拡大し、会員数を増やす活動です。この活動は、地区においてはガバナーと、スポンサークラブの協力で行われ、無地区地域では、国際ロータリー理事会のもとで遂行されます。

「内部拡大」である、クラブの会員増強は、一朝一夕には成し得ません。

会員増強・維持拡大なくして、ロータリークラブは存続し得ないことだと思います。

会員増強・会員維持委員会そして会長・幹事が中心となって 取組むだけではなく、組織を挙げての取組みが重要となります。

全員の強い心構えのもとに、情報を収集し会員同士が連携を取り合って新会員獲得に努め、新会員や若い会員にとって魅力ある「ロータリークラブ作り」と、「会員増強のために知恵を絞り」鶴岡RC・50人復活へ向けて行動を起こして行かなければならないと思う次第です。

ハードとソフト両面で、会員皆さんの協力なくしては、会員増強・維持拡大は不可能です。

会員みなさんのご協力をよろしくお願い致します。

幹事報告

西川 富美子 君

9月ロータリーレートのお知らせ

1ドル → 80円

青少年交換学生についての御報告

7月29日 来日予定

出席報告

会員数	41名
出席	27名
出席率	69.23%
前々回確定出席率	66.67%

■RI会長 田中作次

■地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

ゲストスピーチ

前鶴岡市長 富塚陽一 氏



去年私は旭日中綬章を受章させていただき、代表として天皇陛下にご挨拶をするようにいわれました。受章者は200人ほどで、県人とか市民の中に悪い人がいると代表はできないのだそうです。鶴岡市民は一人も悪い人はいなかったおかげで代表で挨拶

をすることが出来ました。素晴らしい市民の皆さんで誇りに思います。ありがとうございました。

私の市政も17年余りに亘ってすすめていただきました。最初に県庁の職員になり企業局(昔は電気局)に配属になりました。当時は洪水地域を中心として山間部にダムを造りました。それでそこに発電所を造る。建設部門と電気事業と協調しながらやるという現場の職員になりました。鶴岡の泉町は名前の通り私が小さいころは水がつくことが何度もありました。コンマ製作所だけで、本当に企業などつくれませんでした。それで荒沢ダムの建設と企業局から倉沢発電所を造りました。その時に地元の反対に合い、私は頭を下げて聞いていることしかできませんでした。結局了承していただいたのですが、荒沢の方達の気持ちはよくわかりました。それから数十年経ってからも朝日村の人には頭が上がらないと思いました。それから集落の方では寝たきりの老人しかいなくなったという話をされました。私が市長になって二期ぐらいになってからです。朝日村があってこの農民に助けられたのだ、そして水の管理と電力を、水力発電で安定的な電力を供給してもらったのだからやはり頭が上がらないと思い合併したのです。温海も寝たきりの老人しかいなくなるという話もあり、新潟にとられては面白くないので温海と朝日村と真ん中にある櫛引とを合併。羽黒の中村町長は合併に同意、阿部町長も同意で、東北で一番面積の大きい市になりました。

以前、私は農家の田植えの手伝いをしたことがありますが、田植えの時期は当時の市長加藤精三先生が「御苦労さん、御苦労さん」と言ってまわっておられました。元は文部省にいて、ここの農民の気持ちと能力を学ばせるために全国から子どもを集めて農林専門学校を創立した方です。それが今の山大的農学部になったのです。加藤精三先生が「ここの農業者は素晴らしい作物を作るし、ここの産業の根幹は農業だ」ということを言いました。それに私は感動して自分が市長になってからも忘れられませんでした。

農業専門学校が出来て山大的が出来た時に山形大学の農学部になったのです。その後一時農学部を山形に持っていくと言う話もあったのですが、文部科学

省に行き、直接事務次官室に「山形大学農学部を山形に持っていくと言う話がありますがやめてください。ここの先輩の加藤精三さんが持ってきたのだから。」と直訴し、その結果動かないことになったのです。その当時の事務次官が今の山大的の学長です。学長もここの農業の素晴らしさを理解してくれているのだと思います。ここ山大的農学部は全国各地から来ているのですが、特に京都の系統の人が多いようです。本屋に行けば江頭宏昌という人が書いた本がありますが、山形県の作物、特に鶴岡の作物のことを主に書いた本です。ここの素晴らしい知的農業を子供たちに学ばせるという伝統を築いてくださるのでありがたいと思っています。

朝日村の人口は0歳から15歳の人で50年間で10%以下、鶴岡でも0歳から14歳までは全国的にもそうですが40%~50%と半分になっています。鶴岡市政として出来ることはここの農業は素晴らしいと伝え、ここで勉強した農学部の学生がここに住みたいという地域になるように市政には伝えております。

農学部だけでなく、善宝寺の和尚さんが工業専門学校も創りました。農家の子供達を農業だけでなく工業の専門学校に入れて、発展的に生きられるようにしていって欲しいのです。皆さんからも、若者に呼びかけてください。どうかよろしくお願いします。

委員会報告

◆出席委員会

◎ゲスト

前鶴岡市長 富塚陽一 氏

◎メイクされた方

塚原初男君・阿部純次君・青柳孝治君・小林健郎君
丸山隆志君・嶺岸禮三君・佐藤友行君・富樫松夫君
富田喜美子君

スマイル 😊

迎田 健 君 娘の所属する高校の吹奏楽部が全国大会に出場することになりました。

菅原成規 君 だだちゃ豆家族例会では子供がお世話になり、ジャンケン大会でも勝って大喜びでした。

加藤 亨 君 先日のだだちゃ豆家族例会には多数の出席ありがとうございました。

青柳孝治 君 富塚さん、ありがとうございました。これからもお元気で。

阿部純次 君 富塚様、卓話を頂き感謝申し上げます。健康に留意され、今後ともご指導のほどお願いいたします。

村上真弥 君 8/25健康で56歳の誕生日を迎えられました。これからが私の時代です。

藤川享胤 君 富塚前市長のスピーチありがとうございました。